

朝鮮の栄光とチュチェ思想の勝利

インド・チュチェ哲学研究委員会委員長

ビピン・グプタ

朝鮮民主主義人民共和国（以下、朝鮮）は長い間、魅惑と注目の的となってきました。

世界の一部の国々から孤立されているにもかかわらず、朝鮮は独自の民族性を育み、民族の運命を開拓する上で重要な役割を果たしたチュチェ哲学を発展させてきました。

この記事でわれわれは朝鮮の栄光とチュチェ思想の勝利について話そうと思います。

朝鮮は第2次世界大戦後、朝鮮半島の分断を経て1948年に誕生しました。金日成主席の指導のもと、朝鮮はチュチェ思想の要求通りに自力更生と主権国建設の道に立ちました。

しばしば「自力更生」とも解釈されるチュチェは、民族の絶対的自主性にたいする信頼、民族的利益の優先権、そして朝鮮人民の創造的能力へ依拠することを強調しています。

金日成主席の賢明な指導のもと、朝鮮は経済的および社会的発展のための力強い闘争の道を歩み始めました。

朝鮮は外部勢力への依存度を低め、人民の福祉を保障する自立経済建設に集中しました。

チュチェの原理は、農業と重工業、そして科学技術に力を入れながら国家政策を導いてきました。

朝鮮のもっとも意義深い成果の一つは、数多の挑戦と逆境を克服できる国の能力の増大です。

経済制裁と政治的圧力、そして敵対勢力の反共和国孤立圧殺策動の中でも朝鮮は各分野で明白な成果を収めました。

朝鮮は教育と保健医療、そして社会活動で有意義な歩みを踏み出すことにより、自国人民が立派なサービスと改善された生活を享受するようになりました。

また、朝鮮は科学と技術の面で明白な成果を収めました。人工地球衛星を宇宙に成功裏に打ち上げ、自己の核能力を発展させ、IT技術とバイオテクノロジーなどで顕著な進歩を遂げました。

このような成果は、朝鮮が自力更生を重視し、また科学を重視することをよく示しています。

さらに、朝鮮は自己の豊富な文化遺産を保存、発展させることに大きな誇りを感じています。伝統的な芸術と音楽、舞踊と文学は奨励されており、民族性を育む上で重要な

役割を果たしています。

朝鮮の文化分野で収めた成果は、朝鮮人民独自の精神を示す躍動する祭典と美術展覧会と公演を通じてよくわかります。

朝鮮の成果は注目に値するものですが、この国家の複雑な地政学的背景を認めることが必要です。

朝鮮の核兵器重視と周辺諸国との複雑な関係は国際的注目を引き、関心も呼び起こしました。

しかし、朝鮮は自己の核は外部勢力から受ける明白な脅威があることから、自衛のために必須的なものであると主張しています。

終わりに、朝鮮の栄光とチュチェ思想の勝利は、自己の自主性を堅持し、各分野で明白な進歩を成し遂げ、自己の文化遺産を保存できるこの国家の能力を見ても分かります。

予期しなかった難関と試練に直面していますが、朝鮮は依然として自力更生を堅持し、人民の福祉を増進させています。

朝鮮にたいする見解はさまざまであろうが、この国家の歴史と成果、そして指導思想にたいする理解は、世界における朝鮮の独特な地位にたいする幅広い見解を持つ上で決定的なものとなります。